

2022.5.12

台湾オンライン交流会

4月26日(火) 5～7限で台湾にある東海大学附属高校 – The Affiliated High School of Tunghai University-と Teams を使ったオンライン交流を行いました。本校からは2年生9名、3年生3名の14名が参加しました。グループで日本・和歌山と若者文化の紹介、質疑応答を行いました。

～以下、参加生徒の感想～



パワーポイントでスライドを作るときに前はほとんど一人の子がやってくれて訂正するときも率先してやってくれたけど、今回は訂正部分を修正したりスライドの見出しを考えたりすることができたので、前回よりもチームとして協力できたと思いました。また、分担しながら作業を行うことができたのでより分かりやすいスライドを作ることができたと思いました。オンライン交流では、相手の説明をスライドを見ながら理解することができ、台湾の流行や良さを知ることができて台湾に興味を持ちました。台湾の食べ物やイベントもとても興味深く自分も行ってみてみたいと思いました。前回の時よりも英語力が少し上がったと思います。また、英語力を磨きもっと会話をしてみたいと思いました。友達と実際に海外に行って日本以外の国の文化や良さを学びながら、多くの人に海外の良さを広めていけたらいいなと思いました。

台湾のオンライン交流二回目、前回よりも理解と興味を持つことができました。台湾の高校生がパワーポイントでの説明を頑張ってくれたので、とても驚きうれしかったです。日本語の上手な生徒さんと先生が台湾の学校にいることを知って、少しでも日本に興味を持ってあげることが分かりました。自分たちの説明は若者文化だったので、説明を聞いた後でもっと日本に興味を持ってあげたらとてもうれしいです。台湾でも日本の漫画やアニメは人気で、共通できることがあってとてもうれしかったです。このような交流が今後もあったら参加して、また新しい発見や共感できることを探してみたいと思いました。

【2年2組 村中亜久莉】

質問を考え、その場で英語に変換する力というのは、今回の交流会の良かった点でもあり改善点でもあります。良かった点を見ると、いつもに比べ積極的に質問をすることが出来ました。2年生の時台湾の方々とのオンラインの交流会にも参加しましたが、その時は自分がもともと割り振られていたパートでの質問しかできませんでした。それに比べ、今回は自分が「聞きたい。」と感じた場面で前に出ることが出来ました。次に、改良点は相手に自分が言いたい内容を明確に伝えられなかったことです。いざ質問するとなると緊張してしまい、普段、英作文で使っている単語やフレーズがなかなか出てきませんでした。その結果、相手の学生さんに何度も聞き直してもらわなければいけませんでした。単語で伝えるのも一つの手段ですが、正確でまとまった文章に越したことはないので瞬時に言いたいことを英語に変換できるようになりたいです。

【3年6組 及川倭加】

台湾の人たちとの交流で今回は質問を積極的に行うということを目指していました。実際に質問をすることが出来ましたが、音声が途切れ途切れでうまく話が噛み合っていなかった。しかし、発表だけでなく質問で会話できたのでいい経験ができたと思います。

パワーポイントもうまく役割分担しながら発表できたので協力して交流会を行えたと思いました。台湾の人たちの発表も工夫されていて新しい発見もできたと感じました。やっぱり準備は大切だなと感じました。

今まであまり海外に興味はありませんでしたが、今回の交流会でもっと海外の人と交流する機会があり積極的に参加できるならしていきたいと思いました。

【2年6組 橙知里】

